

# 授業の進め方

英語の本当の基礎を身につけさせるための授業を想定した一例です。

## 1. 授業の準備

### 1) 英文教材を選ぶ

学習者が、英文の内容をイメージしやすいものを選びます。間違っても、同時に何か（サイエンスなど）を学ばせようと考えないことです。二兎を追うもの一兎をも得ず、です。「物語」が最適です。ただし、古くからある「童話」は、英語が難しいものが多いので注意が必要です。英文にカラーで記号づけしてみれば、青（準動詞）や緑（従属節）の記号の出現頻度で難易度がわかります。

### 2) 和訳を用意し、配布する

和訳が無い場合は、教師が自分で用意します。直訳ではなく、できるだけこなれた日本語で、内容をイメージしやすいように心がけます（英語教師の日本語力が問われます）。学習者が英文の内容（イメージ）を把握できるように、和訳は前もって配布します。和訳があっても、英語がわからないと記号づけもチャンク訳もできません。

### 3) 記号づけ用のプリント、あるいはPDF ファイルを用意する

英文の文字間隔を広めに設定します。難しい語彙の意味を入れておくのもいいでしょう。なお、タブレットやスマホえば、1つの英文を複数コピーしておいて、同時に複数の学習者が記号を付け、それをタブレット・スマホ上でリアルタイムに共有しながらスクリーンにも投影する、ということが可能です。

### 4) 模範解答を用意する

記号とチャンク訳を施した模範解答を作成し、印刷しておきます。チャンク訳はできるだけ直訳とし、英語本来の意味に気づかせる工夫をします。

## 2. 授業

### 1) 1つの英文について、まず全員で音読する

### 2) 学習者に英文に記号をつけさせる

記号をつける方法として

- ・各学習者が、紙（プリント）の上で記号をつける
- ・指名された者が、黒板上の英文に記号をつける
- ・タブレットやスマホで記号をつける

などがあるでしょう。いずれにせよ、学習者自身が記号をつけることが必須です。品詞の判断が難しそうな語句があれば、品詞（の略号）を語句の右肩に記入させます。

### 3) チャンク訳をさせる

通常は、1名を指名してチャンク訳をさせることになるでしょう。タブレット・スマホを使えば、上の2)での学習者の間違いをリアルタイムに把握できますの

で、副詞句、形容詞句の間違い（日本語の助詞など、語尾に注意）が多い箇所のチャック訳を入力させます。その後、教師が、記号を修正しながら、口頭でチャック訳をします。チャック訳は、和訳とは異なり、英語を英語として理解するための補助と考えて、他動詞は他動詞らしく（want は「～を望む」「～を欲する」など）します。それがあまりに不自然な時は、その後日本語らしい訳で補助すればいいでしょう。

#### 4) 教師が文法や語彙の説明をする

教師が、注意すべき語彙の説明、品詞や構文の説明を加えます。記号を付けた上での説明は極めて有効となります。必要に応じて『大学英語の基礎』を参照します。学習者はすぐに忘れます。他に学ぶこと、することが多いからです。「知識」を定着させるには、繰り返しが必要ですが、授業の後の繰り返しは、ノート、自分のメモが入った教科書無しにはできません。この『大学英語の基礎』はそのために作りました。なお、「知識」は、英語を学んでいくための骨格となるものです。それに肉が付きます。

#### 5) 発音の指導をする

英文中で間違いやすい発音の指導をします。通常の授業の回数、時間では、発音を身につけさせる十分な時間が取れないのが現状でしょう。1つの考え方として、国際語として通じれば良いということがあります。ただ、日本人は、母音字の発音（音読み、訓読み）を逆にすることが多く、科学技術英語では（過去のドイツ語の影響もあるためか）それが顕著です。子音以上に母音が重要ですので、正しい母音の発音の知識を持たせる必要があります。『大学英語の基礎』の発音編はそのためのものです。なお、一人で学び続けるための「知識」として定着させるには、発音記号は必須です。

#### 6) 音読をする

英語力を身につけるには、理解できた英文の内容をイメージしながらの音読が効果的だと言われています。この時、基礎の段階では、「名詞＋形容詞句」，「他動詞＋目的語」の部分音読を2，3度やってからの文の音読が有効です。

#### 1)～6) を，英文1つずつについて繰り返す

#### 7) 模範解答を配布する

授業中にノートを取ることに気を取られる学習者も多いので、後で模範解答を配布することを伝えておくのが良いでしょう。

#### 8) 復習が大事であることを伝える

品詞も考えずに辞書から拾った単語の意味を適当に繋いで和訳を用意するような予習は不要だが、意味を理解した英文の音読は効果的であることを伝えます（なかなかしてもらえない現実、あります）。